

# 温度調整やネット販売

ITを活用した優れた経営を実践している企業・団体を表彰する「おかやまIT経営力大賞」（岡山県経済団体連絡協議会など）でつくる実行委員会主催）に本年度は県内の7社が入賞した。大賞と優秀賞に選ばれた3社の取り組みを紹介する。

## 大賞

### まるみ麴本店（総社市美袋）

1950年創業のみそ製造販売会社。製造工程にITを取り入れているほか、インターネット販売にも積極的に、タブレット端末を使い、社外で各種データを確認するためのネットワークも構築。夜間に異常が起きた際のメール通報システムをつくり、深夜勤務の軽減やリスク管理にも努めている。

販売面では、15年前に自前で開設したホームページを3年前に一新した。商品の魅力が伝わるよう「無添加」「国産大豆」といったメッセージを強調することで、安全・安心に関心の高い全国の消費者から次々に注文が入るようになった。16年6月期の売上高は5年前の2割増となる約1億7千万円。ネット通販の伸びは、3年で4割以上という。

「伝統食品の分野でITを生かし、売り上げ増に結び付けている点が高い評価につながった」と実行委。山辺啓三社長は「質の高い商品を全国の消費者に届けていきたい」と話している。（橋本直樹）

温度や湿度のデータを確認しながら、みそを製造するまるみ麴本店



売り上げ動向をリアルタイムで知りたい、機器の故障に素早く対応したい…。コインパーキング経営者の声に応えた遠隔管理システム「i Parknコンシエール」が2015年に開発。導入した駐車場で稼働率が高まるなど成果を上げている。

車の出入りや料金の支払いがあるたびにクラウド型サーバーにデータを送信。利用件数や時間帯、収入の推移など13項目をグラフで確認できる。利用状況は駐車区画ごとに分析が可能

### 英田エンジンニアリング（美作市三保原）

## 優秀賞

### アール・ケア（玉野市東高崎）

デイスリーブや訪問介護が主力の介護サービス事業者。2012年、岡山県南部などで運営する10カ所のリハビリテーション特化型デイスリーブ施設に、利用者の身体機能のデータ管理システムを導入した。歩く姿を動画で撮影し、歩行姿勢や速度を専用のソフトウェアで分析。握力、体組成、体の重心の安定性なども併せて調べ、計10種類の検査結果をデータベースに登録する。

測定は3カ月ごとに実施。リハビリの効果を映像

## コイン駐車場遠隔管理



遠隔管理システムを導入した駐車場  
岡山県岡山市

で、料金の見直しやレイアウト変更など、きめ細かな対応につながる。故障などのトラブルを修理業者に自動通知する機能も搭載。今では直営の約40カ所に導入し駐車場事業（コインパーキング機器販売を除く）の経常利益は以前の2.5倍に上昇した。英田エンジンニアリングは、同機器で国内約40%のシェアを持つ。AI（人工知能）を使ったシステム開発も進める計画で、「これからはソフトとハードを組み合わせた利用しやすい駐車場づくりに力を入れたい」としている。（太田知二）

## リハビリの効果視覚化



利用者の歩く姿勢や速度を記録する  
タブレット端末

や数値で視覚化することで、より個人に合ったプログラムを作成でき、利用者の意欲向上に役立っている。以前は測定したデータを職員が紙に書いて管理していたが、システム導入後は記録や集計の手間がからなくなり、介護サービスの質の向上にもつながっているという。アール・ケアは「利用者や家族からは、身体機能の改善度合いが分かりやすくなったと評価されている。自立支援に向け、さらにデータの有効活用を検討していく」とする。（水野雅文）